

水害リスクマップ等の作成・公表について

1 要旨・目的

流域治水の取組の一環として、市町における水害リスクを踏まえた防災まちづくりの検討に活用してもらうための、「水害リスクマップ（浸水頻度図）」及び「多段階の浸水想定図」を9月27日より順次公表する。

2 現状・背景

本県では、水防法に基づき、洪水時の住民の円滑かつ迅速な避難の確保を目的として、想定し得る最大規模の降雨^{*}を対象とした洪水浸水想定区域図を作成・公表してきた。

さらに、近年の気候変動の影響による豪雨の激甚化・頻発化に対応するため、流域治水の取組を推進することとしており、被害対象を減少させるための対策として、水害リスク情報の充実を図る必要がある。

※1年間に発生する確率が1/1000（0.1%）以下の降雨

3 概要

(1) 対象者

県民・事業者等

(2) 事業内容（実施内容）

全ての県管理河川を対象に、「水害リスクマップ（浸水頻度図）」及び「多段階の浸水想定図」を作成・公表する。

（河川課 HP: <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/99/shinsou.html>）

	内容	種類
水害リスクマップ	浸水深別に想定される浸水範囲を降雨規模毎に示した図	浸水深0.0m(浸水発生)以上、 浸水深0.5m(床上浸水相当)以上、 浸水深3.0m(一階居室浸水相当)以上の計3種類
多段階の浸水想定図	公表済の想定最大規模降雨に加え、より頻度の高い複数の降雨規模別に作成した浸水想定図	降雨規模(年超過確率)1/5、1/10、1/30、1/50、1/70、1/100の計6種類

(3) スケジュール（公表日）

- 1級水系については、国による検討の進捗状況に応じて関係市町を含めた調整を進めながら水系毎に順次公表予定。
- 2級水系については、関係市町との調整を進めながら市町毎に順次公表予定。

	作成主体	R5	R6	R7	備考
1級水系 (県管理河川)	国・県	作成 →	順次公表 →		・ 順次公表予定 ・ 国管理河川は令和4年度に公表済
2級水系	県	作成 → 9/27 ● 順次公表 →			・ 竹原市を先行に順次公表予定 ・ 令和5年度完了予定

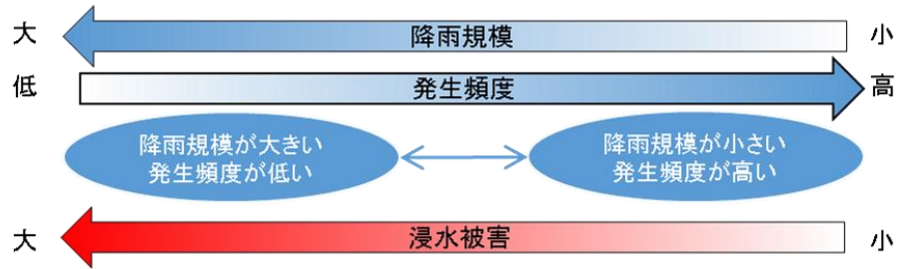
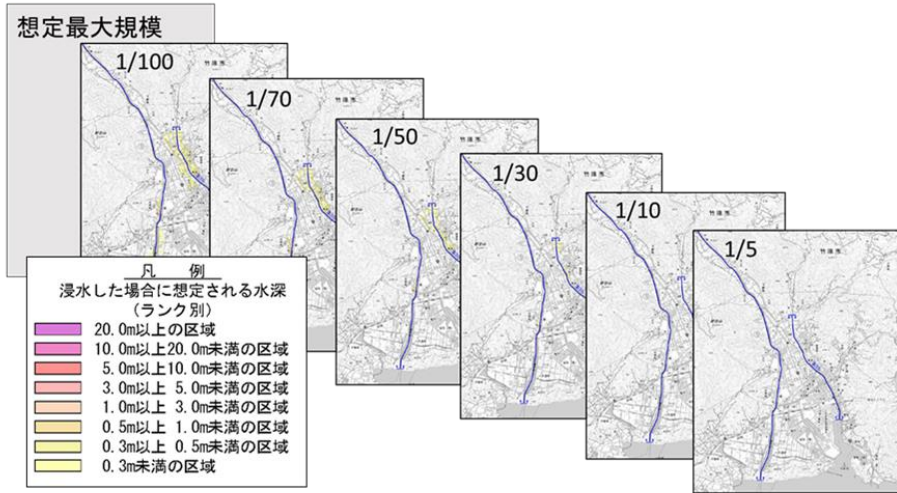
(4) 予算（単県）

8,000千円

(5) 今後の対応

市町における防災まちづくりだけでなく、被害の軽減、早期復旧・復興のための対策として、企業の事業継続計画（BCP）の作成等への活用促進に向け、流域治水協議会等を通じて情報共有を図るなど広く周知するとともに、精度向上も含め水害リスク情報のさらなる充実を図っていく。

多段階の浸水想定図

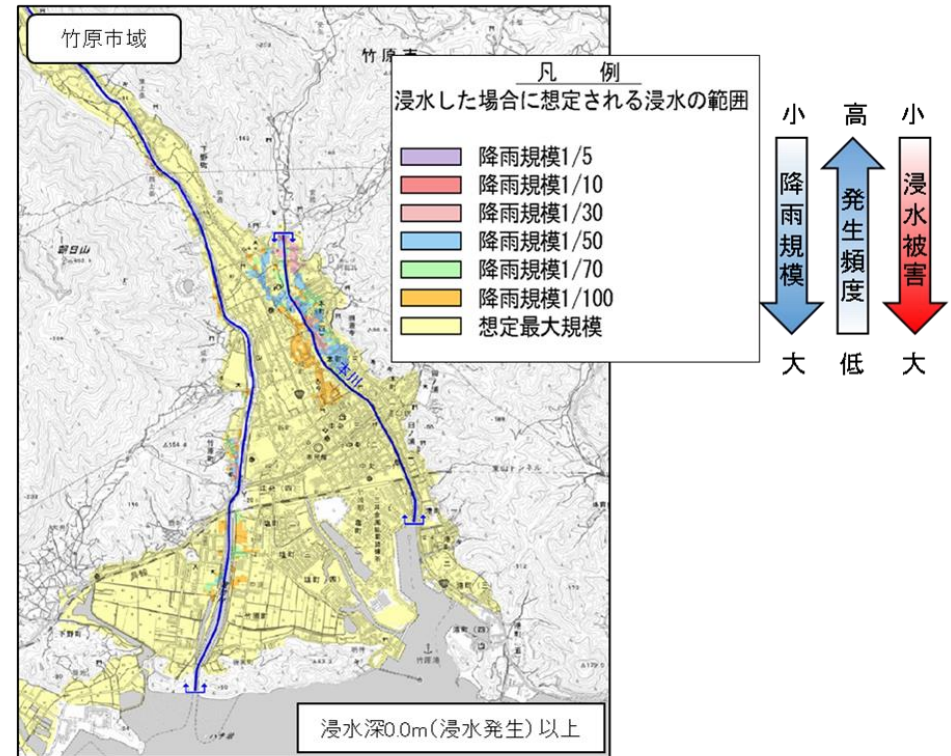


- 公表済みの想定最大規模降雨に加え、より頻度の高い複数の降雨規模別に多段階の浸水想定図を作成。
- 設定した降雨規模(年超過確率)は以下のとおり。

1/5・1/10・1/30・1/50・1/70・1/100

※ 年超過確率1/○○: 毎年、1年間にその規模を超える現象が発生する確率が1/○○であることをいう。

水害リスクマップ(浸水頻度図)



- 浸水深別に想定される浸水範囲を降雨規模毎に示した図を作成。
- 設定した浸水深は以下のとおり。
 - ・ 浸水深0.0m(浸水発生)以上
 - ・ 浸水深0.5m(床上浸水相当)以上
 - ・ 浸水深3.0m(一階居室浸水相当)以上